

社会資本総合整備計画(防災・安全)

せい かつくう かん
生活空間における

あん ぜん
安全・

あん しん
安心を

か く ほ
確保する

どう ろ と う
道路等の

せい び
整備(

ぼう さい
防災・

あん ぜん
安全)

(第1回変更)

ひろしま し
広島市

平成29年3月

(様式第7)

社会資本総合整備計画

平成29年3月27日

計画の名称		生活空間における安全・安心を確保する道路等の整備(防災・安全)							重点計画の該当		○	
計画の期間		平成28年度(1年間)		交付団体		広島市						
計画の目標												
緊急輸送道路の整備に併せて無電柱化を行い、通学路の安全を確保や災害時における避難路及び輸送路の確保など都市の防災機能を向上させ、生活空間における安全・安心を確保する。												
計画の成果目標(定量的指標)												
・緊急輸送道路の無電柱化(電線共同溝)の整備率を高める。 ・地域における交通事故件数を減少させる。												
定量的指標の定義及び算定式												
定量的指標の現況値及び目標値												
当初現況値												
中間目標値												
最終目標値												
備考												
緊急輸送道路の無電柱化(電線共同溝)の整備率 無電柱化の整備率(%)=整備完了総延長/整備計画総延長(事業費換算延長) 地域における交通事故件数(件) (地域における交通事故件数)=(南蟹屋地区の年間の交通事故件数)+(旭地区の年間の交通事故件数)+(東雲本町地区の年間の交通事故件数)												
全体事業費												
合計												
1,314												
A												
1,314												
B												
0												
C												
0												
D												
0												
効果促進事業費の割合												
C/(A+B+C)												
0.0%												
交付対象事業												
A 基幹事業(道路事業)												
番号												
事業種別												
地域種別												
交付対象												
直接間接												
事業者												
道路種別												
省略工種												
要素となる事業名(事業箇所)												
事業内容(延長・面積等)												
市町村名												
事業実施期間(年度)												
H28												
H29												
H30												
H31												
H32												
全体事業費(百万円)												
費用便益比												
個別施設計画策定状況												
備考												
16-A-1												
16-A-2												
16-A-3												
16-A-4												
16-A-5												
16-A-6												
16-A-7												
16-A-8												
16-A-9												
合計												
1,314												
B 関連社会資本整備事業												
番号												
事業種別												
地域種別												
交付対象												
直接間接												
事業者												
道路種別												
省略工種												
要素となる事業名												
事業内容(延長・面積等)												
市町村名												
港湾・地区名												
事業実施期間(年度)												
H25												
H26												
H27												
H28												
H29												
全体事業費(百万円)												
備考												
16-B-1												
16-B-2												
合計												
番号												
一体的に実施することにより期待される効果												
16-B-1												
16-B-2												
C 効果促進事業												
番号												
事業種別												
地域種別												
交付対象												
直接間接												
事業者												
省略工種												
要素となる事業名												
事業内容												
市町村名												
港湾・地区名												
事業実施期間(年度)												
H25												
H26												
H27												
H28												
H29												
全体事業費(百万円)												
備考												
16-C-1												
16-C-2												
合計												
番号												
一体的に実施することにより期待される効果												
16-C-1												
16-C-2												
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業												
番号												
事業種別												
地域種別												
交付対象												
直接間接												
事業者												
道路種別												
省略工種												
要素となる事業名(事業箇所)												
事業内容(面積等)												
市町村名												
事業実施期間(年度)												
H28												
H29												
H30												
H31												
H32												
全体事業費(百万円)												
備考												
16-D-1												
16-D-2												
合計												
番号												
一体的に実施することにより期待される効果												
16-D-1												
16-D-2												
その他関連する事業												
事業種別												
地域種別												
交付対象												
直接間接												
事業者												
道路種別												
省略工種												
要素となる事業名(事業箇所)												
事業内容(延長・面積等)												
市町村名												
事業実施期間(年度)												
H23												
H24												
H25												
H26												
H27												
全体事業費(百万円)												
備考												
A'												

(様式第7)

社会資本総合整備計画

平成29年3月27日

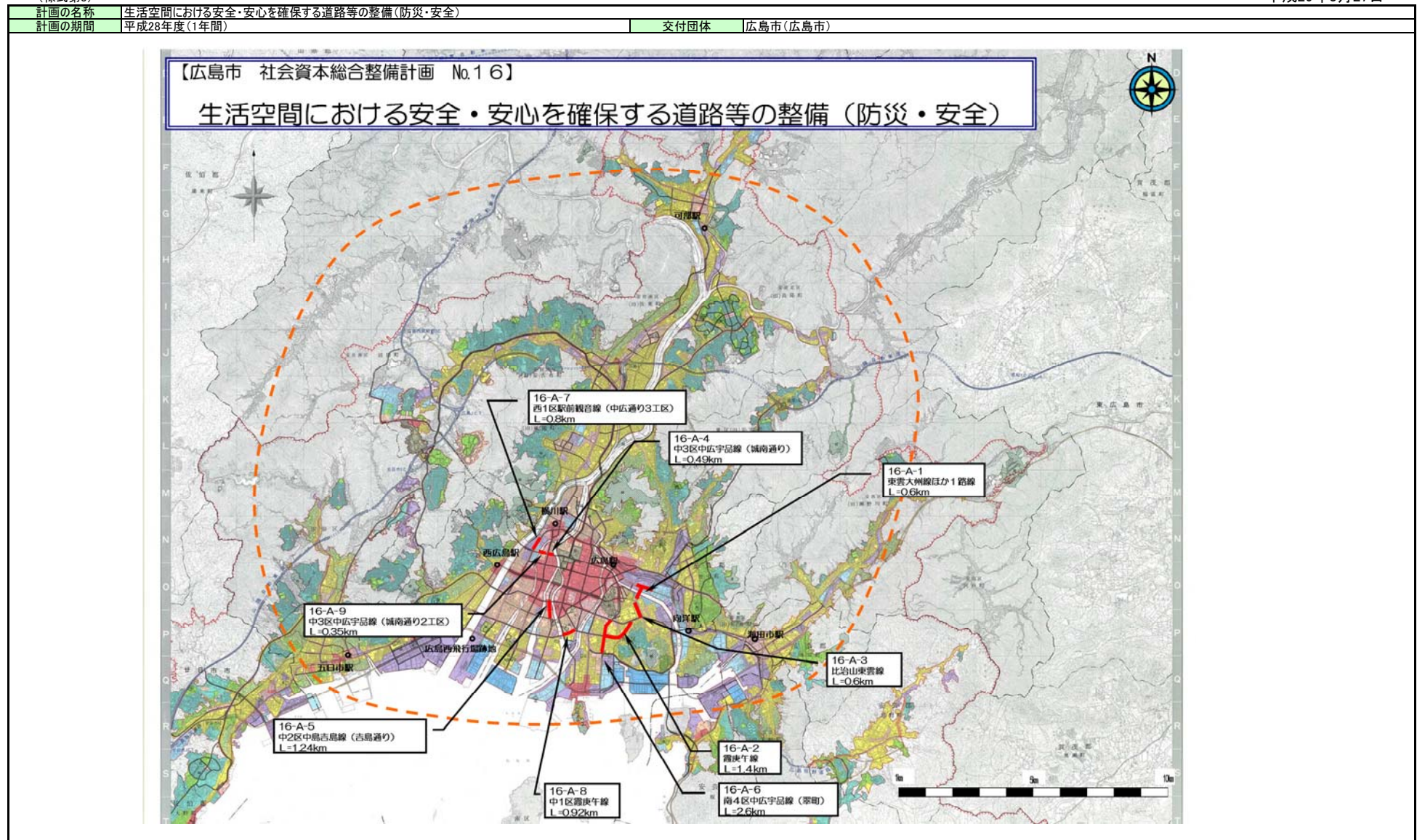
計画の名称	生活空間における安全・安心を確保する道路等の整備(防災・安全)			重点計画の該当	○
計画の期間	平成28年度(1年間)	交付団体	広島市		
計画の目標					

緊急輸送道路の整備に併せて無電柱化を行い、通学路の安全を確保や災害時における避難路及び輸送路の確保など都市の防災機能を向上させ、生活空間における安全・安心を確保する。

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28				
配分額 (a)	723				
計画別流用 増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	723				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	73				
翌年度繰越額 (f)	650				
うち未契約繰越額 (g)	55				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	7.6%				
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	-				



社会資本整備総合交付金チェックシート
(汎用タイプ)

計画の名称: 生活空間における安全・安心を確保する道路等の整備(防災・安全)
都道府県名: 広島市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○